

上映企画

『それから』/『(ハル)』 バリアフリー上映のお知らせ

国立映画アーカイブでは、2025 年 11 月 15 日(土)、上映企画「映画監督 森田芳光」において『それから』(1985 年)と『(ハル)』(1996 年)のバリアフリー上映を行います。

聴覚障害の方向けの日本語字幕と、映画の音声を増幅するヒアリンググループシステムをご用意しています。また、視覚障害の方向けの音声ガイドを FM 配信し、ラジオ貸出もいたします。

目や耳の不自由な方も、日本映画の名作と一緒に楽しみいただける機会となります。多くの方にお知らせたく存じますので、ぜひとも周知にご協力賜りますようお願いいたします。

概要

12:30 の回 『それから』 バリアフリー上映



©東映

『それから』

1985 年 / 130 分 / 35mm フィルム上映 / 監督: 森田芳光

かねてから漱石文学の映画化を目論んでいた森田が、松田優作との再タッグにあたって満を持して挑んだ文芸映画。モラトリアムの倦怠とその終焉というモチーフは、ここまでの森田作品の延長上にあるが、ベテランのスタッフや俳優たちも参加するなかで、野心的な演出とオーソドックスな語りの両立を見事に成し遂げ、再びキネマ旬報ベスト・テン第 1 位に輝くなど森田の代表作のひとつとなった。

16:00 の回 『(ハル)』 バリアフリー上映



©光和インターナショナル

『(ハル)』

1996 年 / 119 分 / 35mm フィルム上映 / 監督: 森田芳光

盛岡に住む“ほし”こと美津江(深津)と東京に住む“ハル”こと昇(内野)は、パソコン通信でのやりとりを通じて自身を見つめ直し、互いへの思いを募らせていく。題材の新しさもさることながら、人物の心理的変化を巧みに表現した字幕の演出やエドワード・ホッパーの絵画を参考にした高瀬比呂志の撮影など、森田の的確かつ繊細な演出によって、普遍的なコミュニケーションのドラマに仕上がっている。

日時: 2025 年 11 月 15 日(土) ※開場は開映 30 分前

会場: 国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU(2 階)(東京都中央区京橋 3-7-6)

料金: 障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則 1 名まで)は無料

HP: <https://www.nfaj.go.jp/film-program/yoshimitsu-morita202510/>

協力: Palabra 株式会社、社会福祉法人聴力障害者情報文化センター

(※詳細につきましては国立映画アーカイブの HP をご覧ください。)

予約方法

ヒアリンググループと音声ガイドをご利用の方は、メールまたは FAX による【事前予約】をお願いいたします。

また、聴覚・視覚障害の方で、字幕でご覧になる方やラジオとイヤホンを持参される方も、お席の予約を受付いたします。(席数や貸出機器には限りがございます。お早めにお申し込みください。)

申込先: 【メール】assist@nfaj.go.jp 【Fax】03-3561-0830 国立映画アーカイブ上映室 宛

申込期間: 2025 年 10 月 28 日(火)―11 月 13 日(木)(※定員に達し次第、締め切ります。)

[本特集に関するプレス用の問い合わせ先]

国立映画アーカイブ(上映室) MAIL: pr@nfaj.go.jp TEL: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830